

市史編さん室 事務局活動報告

(平成二四年一月～二月)

I 古文書等調査報告

一 古文書等調査の概況

市史編さん室では、各専門部会活動の資料とするため、市内外にある古文書等の史料について、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

平成二四年一月から一二月の間に、一三件の文書群(総点数八〇五〇点)について調査を終えた。これで、平成一九年度より約一一〇件(総点数三六〇〇〇点超)の調査を終えたことになる。なお、平成二四年一二月末日段階で、二五件(総点数四一〇〇〇点超)の史料群を借用しており、現在調査を進めている。他に、熊谷市で所蔵している一七件(総点数二一〇〇〇点超)や市外の史料保存機関などで所蔵している古文書等についても、随時調査を行っていく予定である。

二 調査終了文書の紹介

間々田青木克公家文書 一二二八点

平成二三年五月九日事務局で間々田に出向いた際、青木家に訪問し調査許可をいただき、平成二三年五月一日、五月二三日、一〇月二五日と三回にわたり借用した近世・近代文書である。青木家は近世では名主を代々勤めて、船積問屋を営んでいた。明治になると南第八大区五小区の副区長を勤めた家である。文書群は平成二年度に利根川近世治水資料調査団がすでに調査していたため、作業内容を活かし目録取りを行い、若干の未整理分も含めて整理を行った。文書群の内訳は近世二七四点、近代以降の文書九五四点と近代文書が大半を占めるが、初見は慶長一四年(二六〇九)七月六日「武州原郡長井庄忍領間々田村御検地帳」と古く、近世前

期・中期のものも散見する。検地帳は慶長一四年の他に貞享元年（一六八四）の三冊、享保一三年、明和八年、文化一一年の二冊があり各年の耕地状況の変遷がおえる。名寄帳は元和七年（一六二二）、寛永五年（一六二八）、延享元年（一七四四）のものがある。年貢割付状は元和二年を初見として二七点、年貢皆済目録は延享五年を初見として一八点あり、明治三年まで確認できる。高札は正徳五年（一七一五）の切支丹、火事・不審者についての二点ある。村明細帳は明治四年のものが二冊確認できる。概略すると、忍県支配分四五三石余、岩鼻県支配分二八五石余、渡船四艘、舟越六人。七三軒、三四三人（男一六八・女一七五）であつた。社寺は明治七年「神社明細書上帳」「寺院明細書上帳」が重要であらう。元禄一三年の史料によると、間々田村には柳原下草錢場があつたという（永一五〇文高）。戸口は安政五年の宗門帳があるが、明治以降の加籍、送籍、入籍、除籍に関するものが約一七〇点あり特徴といえよう。交通では青木家が船積問屋で解（はしげ）を所有して商売をしていたことが窺える。明治六年に間々田村が所有する船は馬渡船二艘、歩行渡船二艘、村外小船一艘、青木家は

船四艘、他に船所持一名、隠船一艘所持は九名、作船一艘所持は五名であつた。青木家は主に石材を輸送していたと思われる。教育関係では明治七年の間々田村六（一三才男女）の就学不就学率がわかる。該当者は八六名で、男四五（就学一三・不就学二三）・女四一（就学一・不就学四〇）で、就学率は男二八％、女二％とかなり低い結果となつた。近世・近代の間々田村の村政、河岸場機能、妻沼周辺地域の一端がわかる貴重な文書群といえよう。平成二四年六月一二日に文書の調査を終了して返却した。（水品）

妻沼小島小林義勝家文書 四六九点

平成二三年二月近世部会古文書所在確認調査で小林家に訪問して調査許可をいただき、同年四月一九日に借用した近世・近代文書である。小林家は埼玉県をはじめすでに数回にわたり調査されている名家である。文書群の内訳は近世二二九点、近代以降の文書は二四〇点である。初見は享保一一年（一七二六）（仁手用水引人足御免七村より差出二付願書）である。小林家は小島村の名主を代々勤め、明治になると戸長、村会議員を

勤めており、小島村の村政に関わる文書が伝来している。小島村は旗本三氏の相給村落で、小林家は旗本石川氏の知行地名主であつた。そのため、石川氏の先祖書（初代〜二代）の写しや、旗本財政が逼迫して小島村に上納金を依頼した覚がある（年不詳）。検地帳は寛政五年（一七九三）のものを文久元年（一八六一）に写したものがあり、他には字前の組分帳が残存する。明治になると、明治五年に地券施行に際して持畑を調べた帳簿が残存する。貢租では天明六年（一七八六）から寛政元年（一七八九）の四年分年貢割付を控えた竖帳がある。明治になると、明治五年壬申租税上納の割賦（元朱印地・除地含む）と皆済帳が一冊にまとまっている。文書群の中でも特に重要な史料として、天明三年「砂降二付用向扣」がある。これは『妻沼町誌』、『新編埼玉県史』資料編一三近世四・治水、『浅間山天明噴火史料集成』Ⅳにも翻刻されている史料であり、利根川泥流により甚大な被害を受けた小島村を中心にした御用留の一種で、利根川中流の記録が少ないなか貴重なものといえよう。絵図は安永二年（一七七三）小島村の野錢場絵図、明和六年新開場并野錢石河原絵図があり、利根川流路

が現在より小島村の北側に位置していたことがわかる貴重な絵図といえよう。戸口は万延元年（一八六〇）の「宗門人別帳」があり、真言宗医王寺の檀徒は小島村全体で二九軒、一三六人（男七三・女六三）であつた。治水では明和六年の「干揚り地一件用向留」をはじめ、明和七年の用水御用留が二冊現存する。小島村は利根川を利用して河岸場が繁栄し、交通の要衝でもありそれに関する史料も特徴といえよう。文化六年四月川船役所へ提出した史料によると、小島村は渡船三艘、小早船二艘を所有していたことがわかる。元治二年（一八六五）「荷物請取積送帳」は、河岸を利用した月日、荷物、依頼主、金額、目的地が記されている。慶応四年（一八六八）「旅人日記改帳」は月日、通行者、出身地、目的地が記されており、作成は小島村渡船場見張所とある。二冊とも河岸場機能の一端を示す貴重な史料として注目されよう。助郷では、文久三年四月「乍恐以書付御歎願奉申上候」は『新編埼玉県史』資料編一五近世六・交通にて「深谷宿当分助郷村定助村々と平等人馬割当願」として翻刻されている史料がある。本文書群は利根川と小島村及び周辺地域を考える上で重要であろう。平成二四年七月二六日に文書の調査

を終了して返却した。

(水品)

上奈良 篠澤靖雄家文書 二二三—二二四

所蔵者からご連絡をいただき、平成二二年一二月二日に借用した近世・近代文書である。篠澤家は江戸時代後期に篠澤外記(大夢)を輩出した名家である。大夢は歌人・医師であり、上奈良周辺だけでなく、江戸在住の旗本・医師らと交流があったと思われる。大夢の門人は、天保十一年(一八四〇)八月には七八名いたことがわかる。文書群の時期は近世四七〇点、近代一八六一点となり、近代文書が約八〇%を占める文書群といえる。初見は天明三年四月写「屋鋪并畑譲覚」で、寛政以降から古文書が散見する。また、「大夢藏書」とある刊本・写本が約四〇〇点あり、大夢は蔵書家の一面も持ち合わせていた。中でも大夢自らが草稿した「大夢草稿」が四冊ほど残存している。内容は漢詩文の草稿であると思われる。また、文政一三年(一八三〇)「伊勢拜礼道中口号」のように、道中で立ち寄った場所で口号(即興的な俳句)を記したものが注目されよう。他にも江戸見物をはじめ参宮・参詣道中日記が散見する。医師として

の大夢は、一橋侍医の石川玄常の門人であり、熊谷の町医者志村養庵(五代目)、『熊谷市史研究』第四号参照も同門であった。天保一五年の「療治書付之事」とある治療依頼書や容躰書が散見する。大夢は医学書をまとめて写し、「百卷之〇〇」としており、文書群から一七冊確認できた。明治になると、篠澤直三郎が明治一九年に上奈良村の村会議員になり、その後区長を勤めた関係から奈良村役場から区長に宛てた各種通達、通知類が散見する。また、直三郎は扶桑教に属しており、明治三十七年第一九教区取締長大講義、明治四四年第一九教区取締権少教正に就任している。富士登山に關しても明治一三年「富士嶽登山日誌簿」、明治二〇年「富士登山休泊帳」などが散見する。消防関係では、明治二一年上奈良組消防組合認可上申の組合規約書が残っている。消防員の年齢規定、役員選挙規程がなされている。直三郎は上奈良組消防頭取として消防活動にも従事していた。直三郎も大夢同様に和歌・漢詩を嗜んでおり、竹月と号した。竹月が参加した風句集も散見する。本文書群は江戸後期から明治期にかけての上奈良における文化人の足跡を追える稀有なものであろう。なお蔵書が入っている

た長持の史料は、貞一氏（所蔵者の父）が一部整理されており、文書群解読の手がかりとなった。平成二四年八月一七日に文書の調査を終了して返却した。（水品）

末広 松本光弘家文書（松本米穀） 二六二点

近代部会村田安穂部会長より所蔵者に連絡をとってもらい、平成二四年七月一九日に現地で調査した近代文書である。松本家は代々平蔵を名乗り、糸繭商、穀物商、松本米穀店を営んだ商家であり、現在は松本米穀精麦株式会社である。また、貴族院議員、熊谷市文化功労者の松本眞平を輩出した家である。松本家は大正期に火事があり、それ以前の文書は残存していない。文書群は明治から昭和初期のもので、初見は明治四四年（一九一〇）から昭和八年（一九三三）までの「営業概況及び営業報告書」である。営業概況は年度ごとの海外情勢を加味した経済状況を記録しており、営業報告書は年度ごとの収支報告であり、近代の松本米穀を知る手がかりとなる重要な史料である。絵葉書が五点あり、中村写真館発行の松本米穀製粉株式会社、松本製粉第一工場、同第二工場があり、当時の会社・工場の景観をうかがえ

る。また、昭和二一年（一九四六）日東製粉株式会社熊谷工場を建てたときの「棟札」も貴重である。近代熊谷町商家の記録として、大変貴重な史料を含んだ文書群といえよう。平成二四年九月六日に文書の調査を終了して目録・解説を所蔵者にお渡しした。（水品）

大塚 松岡清家文書 六七三点

平成二二年八月一六日の民俗基礎調査で訪問して調査許可をいただき、九月九日、九月一三日、平成二四年二月二七日に借用した近世・近代文書である。松岡家は明治期に村会議員、土木委員、差配人などを勤めた家である。近代以前は三点（刷物含む）、近代六七〇点とほぼ近代文書中心の文書群である。初見は天保元年（質地証文）である。松岡啓次郎が村会・土木委員を勤めたことから、上中条村外三村組合（明治二二〜四一年）時代のものが大半である。中でも、明治二三年「郡界更正請願書」は大里郡編入を懇願した史料で重要であろう。また、天神河原用水関係もまとまつており、目論見、収支などがうかがえる。衛生では消防組惣代、衛生組長を啓次郎が勤め、消防日記や当選通知などが散見する。明治期の大塚村をかたる上で

重要な文書群であるといえよう。平成二四年一月一日に文書の調査を終了して返却した。
(水品)

上奈良松本文利家文書 四〇九点

平成二二年度の上奈良篠澤靖雄家文書調査の際、古文書所在情報を書き、平成二三年二月二日に借用した近世・近代文書である。文書群は近世六三点、近代三四六点和近代文書が大半を占める。初見は延享二年(一七四五)「譲り申証文之事」。松本家は近世で名主、明治では衛生委員を勤める家である。た、村文書は少なく家関係、書籍類が多く、虫損が激しく内容不明な文書も多数ある。家政に関する文書は安永期の「蔵入用覚帳」など散見する。明治になると衛生関係の村内議定請書がある。書籍類は刊本・写本合せて一四二点確認できる。読本、手習本が多く、明治では熊谷小学校蔵版の手習本や、幡羅高等小学校の教科書、埼玉県立熊谷農学校の「農事講習要項」など熊谷に関係した書物もあり貴重である。近代上奈良の衛生・教育の一端を示す文書群である。平成二四年一月一日に文書の調査を終了して返却した。
(水品)

銀座吉田達夫家文書 二点

平成二三年六月一日に所蔵者が市史編さん室へ史料をご持参してくださり、借用した軸物で、四方寺吉田六左衛門家系図と勝海舟の書である。吉田家は戦国期に成田家の家臣であったとされ、天正期(一五七三〜九二)に四方寺村に土着して百姓となったという。数代の後、隣村の下奈良村に吉田市右衛門を分家したことでも有名である。吉田家に関する文書は、市立熊谷図書館・明治大学博物館などに所蔵されており、それらの文書とともに本史料を検討することで、より豊かな地域の歴史像が明らかとなろう。調査を終了した後、平成二四年三月八日に返却した。
(栗原)

中野達哉氏収集 下奈良村文書 六六九点

駒澤大学文学部教授の中野達哉氏が古書店から購入した近世・近代文書である。平成二三年一月八日から全一一回にわたって、保管されている駒澤大学へ訪問して調査をさせていただいた。調査の結果、出所が青木家であることを確認した。青木家は、下奈良村の名主(旗本朝比奈氏知行)や戸長・村長などを勤めた家で、本

文書群では古右衛門・丑五郎・清太郎などの名が確認できる。初見は元禄九年（一六九六）「割帳写」である。文書の内容は、近世では旗本知行に関する文書や名寄帳など多様な文書が含まれているが、年貢関係史料や土地売買証文・借金証文などが比較的点数がまとまっている。近代では、明治三一年（一八九八）から大正四年（一九一五）まで確認できる「種卸帳」が特に重要で、青木家の経営帳簿という性格の文書である。なお、青木家の文書については、後掲の市史編さん室所蔵下奈良村文書とともに、埼玉県立文書館にも保管されたものがあり（整理中）、本文書群とともに併せて参照する必要がある。本文書群は、調査を終えた後も駒澤大学中野研究室に保管されている。

（栗原）

新堀新田 石丸家文書 四三二点

平成二三年三月に古書店より購入した文書である。石丸家は、新堀新田に住居した地主であると思われるが、詳細は不明である。初見は宝永八年（一七一二）「覚帳永代田畑山取」という簿冊で、全体的には江戸後期から明治期にかけての帳簿と年代未詳の領収書や書状な

どの文書が中心である。なかでも延享四年（一七四七）「万日記覚帳」は貴重であろう。金銭の出納記録から石丸家の消費行動をうかがうことができ、作付けなどの農事も記録されている。本文書群には、他にも様々な名称の金銭出納帳や江戸への旅日記などがあり、大きな特徴であろう。また、稲生周一郎という人物からの書状が数点確認でき、書物の出版や代官手代への就職など興味深い内容を含むものであり、今後詳細に検討しなければならぬ文書であると思われる。本文書群は、調査を終えた後も妻沼展示館にて保管している。（栗原）

下奈良村文書 一七七点

平成二四年九月に古書店より購入した近代文書である。調査の結果、出所が青木家であることを確認した。青木家は、下奈良村の戸長・村長などを勤めた家である。初見は明治一九年（一八八六）で、多くの文書が明治三〇年代から大正期に集中しており、当時の青木家は清太郎が当主であったと思われる。文書の内容は、大宇費・奈良堰用水費などの勘定に関する諸帳簿が大半を占め、その他には上申書・議案・引継書などの行政文書

がある。なお、青木家の文書については、前掲の中野達哉氏収集下奈良村文書とともに、埼玉県立文書館にも保管されたものがあり（整理中）、本文書群とともに併せて参照する必要がある。本文書群は、調査を終えた後も妻沼展示館にて保管している。（栗原）

熊谷市史編さん室収集文書 一 三点

平成二四年一月に古書店より購入した文書である。いくつかの出所からなるが、明確にはならないため、一括して「熊谷市史編さん室収集文書」として整理した。全六件（一三点）である。いくつかのまとまりごとに内容を示しておこう。①上中条村文書が二点あり、ともに天保期（一八三〇～四四）の旗本知行に関する文書である。上中条村は当時旗本八給で、そのなかの八木氏（五〇〇石）知行の名主代が作成したものである。文書には、年貢・諸役や石盛・斗代、年始の上納物などの仕送り物が書き留められている。②嘉永二年（一八四九）における虚無僧一件の議定書がある。関東取締出役からの達しにつき、妻沼最寄りの葛和田村大惣代三右衛門・他九カ村の名主が作成した請書である。③荒川の

船問屋・船持ちらによる荷物に関する議定書留がある。文化四年（一八〇七）の議定や嘉永元年の議定などの一連の文書が写されている。船荷物請払運上株主が中心に作成したもので、数少ない下久下河岸・江川河岸に関する文書であり、重要であろう。④幕末に熊谷宿の絹買仲間から村方役人中へ宛てた願書がある。内容は、絹の惣丈・地幅の取り決めに関するものである。宿場と周辺村落の生業について示す重要な文書であろう。⑤「明治四十二度諸々図面及木口取調書 浅見平三郎」と記された紙に包まれた七点の図面がある。いずれも近代のもので、玉井村玉井鈴木賢二（樓鳳樓）の記した家相図である。蚕室の図面も含まれている。本文書群は、調査を終えた後も妻沼展示館にて保管している。（栗原）

男沼 飛田佳洲家文書 一 一点 一四七頁参照

原田覚一郎家（妻沼滑空場関係）文書 一六一〇点

一五二頁参照

最後に、古文書の調査をさせていただきました所蔵者や関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

（文責 一 栗原健一 二 栗原健一・水品洋介）

II 埼玉県行政文書調査報告

平成二四年度より埼玉県立文書館にある国重要文化財に指定された埼玉県行政文書の調査を開始した。埼玉県行政文書は熊谷市史近現代資料編が必要となるため、調査を始める前に全体像を把握してどのように調査していくか会議で方向性を模索した。まず、文書館ホームページより熊谷市に関係ある項目、主に旧村、大字名で検索を行い目録データ化した。これは旧熊谷市(一三二〇七件(重複含む)、妻沼で四一九二件(重複含む))となった。その後、近代部会より、旧村別でなく番号順に並び直して、重複分を削除した目録リスト化を指摘され、訂正した。その目録データから各委員が担当分野で必要と判断した史料の選別を行い、それをもとに協力員、事務局が必要分のみを収集する方針になった。選別する順番は明治、大正、昭和戦前の順で着手することになった。なお、現代部会でも同様に委員による選別を依頼し、昭和戦前、昭和戦後の目録データを配布している。

調査は平成二四年度五月二六日、近代部会重田正夫専門調査員、協力員三名、事務局と文書館職員による調査開始に伴う打合せを行った後、調査を行った。収集は原本ではなく紙焼き本(CI日本)をデジタルカメラで撮影することとした。また、選別した史料件名の前後に熊谷関係の史料があり、重要と判断したものは追加で収集、カット数と紙焼き本の頁数を目録データに反映することとした。以降協力員及び事務局により六月から一月にかけて、計一三回調査を実施した。撮影した史料の総件数は約一一一〇件で、撮影した枚数は約一四〇〇〇カットにのぼる。明治期に関していえば作業はほぼ終了の見通しがついた。今後は大正期の史料に着手する予定である。

(文責 水品 洋介)

III 新聞記事調査報告

平成二四年度より熊谷市史近現代部会で必要となる新聞記事の調査を開始した。また、近現代資料編、通史編といった本編だけでなく、調査報告書となる新聞記事目録の準備としても重要な調査で、成果を蓄積していく必要がある。収集する新聞は、近代・現代部会で協議してもらい、埼玉新聞を中心に四大新聞(朝日・毎日・読売・産経)の地方版(埼玉版など)から熊谷に関係する記事を抽出することを基本方針として、目録化する作業からはじめることとした。作業開始時期は、戦後から着手することとした。新聞記事を目録化した後、委員による記事の選別を行い、必要なもののみ収集していく手順を予定している。

平成二四年四月二二日、埼玉県立浦和図書館で現代専門部会荒井悦郎専門調査員、協力員二名、事務局二名による打合せを行い、協力員が調査する新聞は朝日新聞・毎日新聞となった。埼玉新聞は、県立浦和図書館が見出し・市町村名から記事を検索できるシステムを作

成しており、こちらからデータを検出して委員に選別をしてもらい、必要なもののみ収集することを予定している。ただ、検索結果をみると、昭和二二年から平成一九年までの「熊谷」で七四二五二件、「妻沼」で四三二六件と膨大な量になった。検索システム的一般利用化を待ち、記事検索画面を印刷して、新たに目録化する作業、委員による選別作業を同時に行う予定である。選別作業の後、随時必要記事を収集していく予定である。

朝日新聞の記事調査は、県立熊谷図書館で協力員及び事務局で五月から九月までの計九回、市立熊谷図書館で一回の計一〇回行った。調査した記事は昭和二八年一月六日から昭和三〇年六月三日の一五二三点、昭和四四年四月一日から昭和四九年三月二六日、昭和四九年七月一日から一二月三十一日の一四二六点である。朝日新聞の記事は、合計で二九四九点の記事を調査して目録化した。

毎日新聞の記事調査は、県立浦和図書館で協力員及び事務局で五月から一二月の計一一回行った。調査した記事は昭和二年一月二日から昭和三年四月二五日一四四七点、昭和二二年一月七日から昭和二三年二月四

日(昭和二八年まで原紙欠落)、昭和二九年一月一二日から昭和三〇年四月三〇日の六一八点である。毎日新聞の記事は、合計で約二〇六五点の記事を調査して目録化した。

また、県立浦和図書館に所蔵されているプランゲ文庫マイクロ資料から熊谷に関連する新聞・雑誌の調査を行った。プランゲ文庫とは、米国メリーランド大学図書館が所蔵する、一九四五―一九四九年(日本占領期)に日本国内で刊行された各種出版物(図書・雑誌・新聞・パンフレット)のコレクションである。当時の出版物検閲のため連合国軍総司令部(GHQ)に提出されたもので、保存に尽力したメリーランド大学教授のゴードン・W・プランゲ博士にちなんで「プランゲ文庫」と命名。当時、発禁となった出版物や、国内ではすでに失われた出版物も含まれており、敗戦直後の国内を知る上で大変貴重なコレクションである。そのコレクションは国立国会図書館とメリーランド大学カレッジパーク校図書館との共同事業によりマイクロ資料化されている。埼玉県立浦和図書館では、その中から埼玉県内で発行された新聞(二七七タイトル、一二三タイトル)・雑誌(一七

二タイトル、四五三フィッシュ)をマイクロ資料化して所蔵している。今回は浦和図書館にあるマイクロ資料から熊谷(熊谷・妻沼)関係の新聞・雑誌の調査を行った。

現代部会からは、戦後検閲を受けた資料自体が重要ということ、事務局では調査した資料をすべて複写する作業を行った。複写した資料は新聞三件、複写四七一枚、雑誌二一件で、合計で五八八枚となった。熊谷・妻沼で発行された新聞・雑誌には、何れも検閲文書が付されており、その経緯を含めて重要な資料といえよう。

協力員による調査は順調に進んでいるが、依然として膨大な記事量であるため、記事目録作成作業は継続することとする。今後は、資料編作成にむけて必要記事を重点的に調査・収集する作業も行っていく予定である。なお、明治・大正期の新聞記事調査は、近代部会より埼玉県立文書館で収集した複製新聞から、地方紙を優先して採録して、時期的欠落がないよう収集していく方針が示され、平成二五年から調査を予定している。今後調査成果を報告していきたい。

(文責 水品 洋介)

IV 行政文書の整理・保存

熊谷市文書管理規程に基づき保存期限満了の行政文書が一括廃棄される際に、市史編さん室では歴史資料として重要な文書を収集保存している。

本年度は平成二四年三月末で保存年限満了となる文書から、保存箱数で二〇二箱分の文書を収集した。文書の保存年限は五年、一〇年のもので、本庁第二文書庫分三六箱、佐谷田文書庫分一三五箱、妻沼行政センター分九箱、江南行政センター分七箱、大里行政センター分一五箱である。

整理作業は、平成二二年度に保存年限満了となり市史編さん室で収集してきた分は終了して、保存箱は新調して合計で九六箱になった。現在は、平成二三年度に収集した一五九箱を選別、整理、保存作業中である。

(文責 水品 洋介)

V 考古資料の整理・報告

考古専門部会において抽出された遺物について、事務局で写真撮影・実測図の作成を行ったほか、既に作成した実測図の、トレースを併せて行った。

平成二四年度に実測・トレース等の図化を行った遺物としては、中廓遺跡の縄文土器・石器、中条遺跡群出土の中世陶磁器、船木遺跡出土の古代の須恵器・土師器等、中世のかわらけ・中国陶磁器、飯塚南遺跡出土の弥生土器・石器などがあげられる。いずれも、未報告の資料を含む貴重なものであった。また、来年度より版組の作業を中心に進めてゆく予定である。

(文責 新井 端・砂生 智江)

VI 市史編さん業務日誌

【平成三年度】

1・15	深谷市個人収集文書返却	2・15	市政宅配講座(三和公民館)
1・15	男沼飛田佳洲家文書返却 調査	2・16	第二回中世専門部会(東大史料編纂所)
1・15	近代専門部会調査(県立文書館)	2・17	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一郎家・吉田康久家文書、12日)
1・16	民俗行事調査・玉井十王堂	2・18	第二回民俗専門部会会議(妻沼中央公民館)
1・19	第二回妻沼聖天山の建築専門部会会議(立正大学大崎校舎)	2・19	近代・現代専門部会合同会議(商工会議所)
1・19	駒澤大学へ下奈良村文書調査	2・22	第二回近世専門部会会議(立正大学大崎校舎)
1・23	近世専門部会古文書所在確認調査(ミーティング)	2・27	大塚松岡清家文書返却・借用
1・30	近世専門部会東大法制史資料室所蔵文書調査	3・2	駒澤大学へ下奈良村文書調査
1・31	妻沼小池瑞枝家調査	3・3	妻沼台門満寺板碑調査
2・1	駒澤大学へ下奈良村文書調査	3・7	熊谷市史編集会議(市立熊谷図書館)
2・1	直災市民大講義	3・8	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一郎家・吉田康久家文書、13日)
2・2	別府公民館・別府村史研究会との会合(妻沼中央公民館)	3・10	第五回考古専門部会会議(妻沼展示館)
2・9	近世専門部会東大法制史資料室所蔵文書調査	3・10	妻沼聖天山の建築専門部会文書調査(群馬県立文書館)
2・9	妻沼小池瑞枝家文書借用	3・13	『大里村史通史編』在庫移動作業
2・13	駒澤大学へ下奈良村文書調査	3・15	市永久保存文書目録調査(庶務課)
2・14	妻沼聖天山仁王像(阿形)修復祝祭(鎌倉)	3・17	近世専門部会古文書所在確認調査(18日)

【平成二四年度】

3・21	男沼飛田佳洲家文書調査
3・24	箱田氏館跡調査
3・31	中奈良野中家文書調査(県立文書館)
3・31	『熊谷市史研究』第4号刊行
3・31	『熊谷市史(妻沼地域編)調査報告書』民俗編第三集衣生活刊行
4・1	中奈良野中家文書調査(県立文書館)
4・8	第一回近代専門部会会議・調査(妻沼展示館)
4・13	柿沼須永昇家文書調査
4・15	第一回近代専門部会会議(市立熊谷図書館)
4・18	民俗行事調査(聖天山春季例祭、19日)
4・22	新聞記事調査・打合せ(県立浦和図書館)
4・24	民俗行事調査(妻沼台麻多利社)
4・25	別府公民館・別府村史研究会との会合(妻沼中央公民館)
4・25	三ヶ尻篠田社家資料調査(赤城社・八幡社)
4・26	代代島久輝家文書借用
4・27	三ヶ尻篠田家調査
5・2	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一郎家・吉田康久家文書)

6・19	飯塚北遺跡・諏訪木遺跡出土遺物	7・11	新堀中村定弘家文書返却・調査	8・17	調査(飯塚誠一郎家・吉田康久家)
6・17	中世石造物調査(別府地区)	7・6	駒澤大学へ下奈良村文書調査	8・17	上奈良篠澤靖雄家文書返却
6・16	新聞記事調査(県立熊谷図書館)	7・4	資料寄贈報告(教育委員会誌)	8・16	第一回中世専門部会(市立熊谷図書館)
6・14	妻沼榎塚資料調査(東京国立博物館)	7・4	末広松本光弘家文書調査	8・12	新聞記事調査(県立熊谷図書館)
6・12	間々田青木克公家文書返却	7・3	資料調査	8・11	新聞記事調査(県立熊谷図書館)
6・3	第一回考古専門部会公議(市立熊谷図書館)	7・3	群馬県太田市立中央図書館所蔵	8・5	取材同昨形搬出取材
6・2	新聞記事調査(県立熊谷図書館)	7・2	飯塚北遺跡・諏訪木遺跡出土遺物(中世)調査(埼玉県埋蔵文化財調査事業団)	8・1	妻沼聖天山仁王(阿形)修復搬入
6・2	新聞記事調査(県立熊谷図書館)	7・2	博物館・東京大学史料編纂所	7・30	妻沼聖天山仁王(阿形)修復搬入
6・1	新島新島順一家文書借用	7・2	赤城社	7・29	第二回近代専門部会公議(市立熊谷図書館)
5・31	東別府東別府神社調査・文書借用	6・30	中世文書調査(県立歴史と民俗の博物館・東京大学史料編纂所)	7・26	万吉阿弥陀堂仏像調査
5・30	船本遺跡出土遺物(中世)調査・借用(大里文化財倉庫)	6・30	新聞記事調査(県立熊谷図書館)	7・25	妻沼小島小林義勝家文書返却
5・26	立文書館	6・29	中世石造物調査(玉井地区)	7・22	民俗行事調査(出来島あはれ神輿)
5・24	埼玉県行政文書調査・打合せ(県立文書館)	6・26	駒澤大学へ下奈良村文書調査	7・19	民俗行事調査(出来島あはれ神輿)
5・21	保存期限満了行政文書収集(22日)	6・25	奈良観音寺山川氏所蔵板碑受け取り	7・18	新聞記事調査(県立浦和図書館)
5・20	地説明会共催(奈良公民館)	6・24	観音寺	7・17	新聞記事調査(県立浦和図書館)
5・17	東別府富田家文書借用	6・21	駒澤大学へ下奈良村文書調査	7・16	中世石造物調査(玉井地区)
5・15	新島新島順一家文書借用	6・21	調査(25日)	7・15	妻沼夏祭り写真撮影
5・14	民俗行事調査(聖天山花祭り)	6・20	八木橋(熊谷と八木橋の歴史)展	7・15	第二回現代専門部会公議・調査(市立熊谷図書館)
5・12	新聞記事調査(県立熊谷図書館)	6・20	上須戸・戸井田家筆子塔調査	7・13	駒澤大学へ下奈良村文書調査
5・11	本志村忠夫家文書借用	6・20	新聞記事調査(県立浦和図書館)	7・12	深谷市個人収集文書調査
5・7	書(7日)	6・20	查事業団)	7・12	玉井滝澤正志家文書借用

市史編さん室 事務局活動報告

9 ・ 12	9 ・ 10	9 ・ 10	9 ・ 7	9 ・ 6	9 ・ 4	9 ・ 1	8 ・ 30	8 ・ 30	8 ・ 28	8 ・ 27	8 ・ 26	8 ・ 24	8 ・ 23	8 ・ 21	8 ・ 21	8 ・ 18					
竹井家文書、市立熊谷図書館所蔵政セントー、(11日)	熊谷市永年保存文書調査(妻沼行政セントー、12日)	仏像調査(上江袋、阿弥陀寺)	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一郎家・古田康久家文書、12日)	末広本光弘家訪問(調査結果報告)	刊行物の搬出等(県立文書館)	玉井鯨井修家訪問	民俗資料調査(東別府 子供墓)	民俗資料調査(原立文書館)	船木遺跡出土遺物(古代)借用・船木遺跡出土遺物(中世)返却(大里文化財倉庫)	政セントー)	熊谷市永年保存文書調査(妻沼行	政セントー)	新開記事調査(原立熊谷図書館)	熊谷市永年保存文書調査(本庁倉庫)	古代・中世部会長打合せ(早稲田大学白山キャンパス)	妻沼聖天山・香林寺)	中世文書・資料調査(長慶寺文書・高柳高橋泰巳家調査)	中奈良長慶寺文書借用	板橋キャンパス)	第一回古代専門部会(大東文化大	文書、(22日)
10 ・ 17	10 ・ 16	10 ・ 14	10 ・ 13	10 ・ 7	10 ・ 6	10 ・ 5	9 ・ 29	9 ・ 29	9 ・ 28	9 ・ 26	9 ・ 24	9 ・ 20	9 ・ 18	9 ・ 18	9 ・ 16	9 ・ 16	9 ・ 15	9 ・ 13	9 ・ 12	9 ・ 9	9 ・ 9
新聞記事調査(県立浦和図書館)	箱田齋藤孝一家文書調査	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新開記事調査(原立浦和図書館)	新開記事調査(原立浦和図書館)	箱田齋藤孝一家文書調査	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)
11 ・ 26	11 ・ 24	11 ・ 22	11 ・ 21	11 ・ 19	11 ・ 18	11 ・ 16	11 ・ 14	11 ・ 14	11 ・ 13	11 ・ 11	11 ・ 6	11 ・ 2	11 ・ 2	11 ・ 2	11 ・ 2	11 ・ 2	10 ・ 29	10 ・ 26	10 ・ 23	10 ・ 22	10 ・ 22
仏像調査(成就院、白道庵)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)	新聞記事調査(原立浦和図書館)

12・16	12・15	12・13	12・13	12・10	12・7	12・6	12・5	12・4	12・4	12・3	12・3	12・3	11・30	11・27	11・26	11・26						
熊谷市永年保存文書調査(妻沼行政センター)	東別府踏査・城館跡調査	下田町遺跡・飯塚北遺跡出土遺物(中世)調査(埼玉県埋蔵文化財調査事業団)	新聞記事調査(県立浦和図書館)	妻沼低地の地形地図調査(考古部会)	市政宅配講座(中条公民館)	今井鯨井良治氏所蔵資料調査・借用	近世専門部会古文書所在確認調査ミーティング(立正大学大崎校舎)	四方寺吉田六左衛門家文書調査(市立熊谷図書館)	下田町遺跡出土遺物(中世)調査(県立嵐山史跡の博物館)	熊谷町等文書調査(明治大学博物館)	中世石造物調査(三尻地区)	第三回近代専門部会会議(市立熊谷図書館)	熊谷市永年保存文書調査(妻沼行政センター)	保存期限満了行政文書移動(大幅小)	熊谷市永年保存文書調査(本庁舎)	上奈良松本文利家文書返却	大塚松岡清家文書返却	下田町遺跡・飯塚北遺跡出土遺物(中世)借用	第三回民俗専門部会会議(市立熊谷図書館)	近世専門部会下奈良吉田市右衛門家文書調査(国文学研究資料館)	民俗行事調査 歳神迎	
										12・25	12・25	12・22	12・19	12・19	12・18	12・17	12・17	12・17				

※本業務日誌は、事務局が関わったものについて記載しています。